

給与所得控除及び基礎控除の改正について

1 給与所得控除の改正（資料 1、別紙 1）

- (1) 給与所得控除額が一律 10 万円引き下げられました。
- (2) 給与所得控除の上限額が適用される、給与等の収入金額が 850 万円に引き下げられました。
- (3) 給与所得控除の上限額が 195 万円に引き下げられました。

改正後の給与所得控除額は、次のとおりです。

給与等の収入金額	給与所得控除額	
	改正前	改正後
162万5,000円以下	65万円	55万円
162万5,000円超180万円以下	その収入金額×40%	その収入金額×40%－10万円
180万円超360万円以下	その収入金額×30%＋18万円	その収入金額×30%＋8万円
360万円超660万円以下	その収入金額×20%＋54万円	その収入金額×20%＋44万円
660万円超850万円以下	その収入金額×10%＋120万円	その収入金額×10%＋110万円
850万円超1,000万円以下		195万円
1,000万円超		
	220万円	

2 基礎控除の改正

- (1) 基礎控除額が 10 万円引き上げられました。
- (2) 合計所得金額が 2,400 万円を超える所得者についてはその合計所得金額に応じて控除額が逡減し、合計所得金額が 2,500 万円を超える所得者については基礎控除の適用はできないこととされました。

改正後の基礎控除額は、次のとおりです。

合計所得金額	基礎控除額	
	改正前	改正後
2,400万円以下	38万円 (所得制限なし)	48万円
2,400万円超2,450万円以下		32万円
2,450万円超2,500万円以下		16万円
2,500万円超		—

3 給与所得者の基礎控除申告書の新設

上記 1、2 の改正に伴い、「給与所得者の基礎控除申告書」が新たに設けられ、年末調整の際に提出しなければならないこととなりました。

4 各種所得控除を受けるための扶養親族等の合計所得金額要件等の改正

同一生計配偶者、扶養親族、源泉控除対象配偶者、配偶者特別控除の対象となる配偶者及び勤労学生の合計所得金額要件がそれぞれ 10 万円引き上げられました。

扶養親族等の区分	合計所得金額要件	
	改正後	改正前
同一生計配偶者	48万円以下	38万円以下
扶養親族	48万円以下	38万円以下
源泉控除対象配偶者	95万円以下	85万円以下
配偶者特別控除の対象となる配偶者 ^(注1)	48万円超133万円以下	38万円超123万円以下
勤労学生	75万円以下	65万円以下